

【資料4】

令和4年度在宅医療介護連携推進事業 研修部会（案）

1. 目的

地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状、専門性や役割等を知り、忌憚ない意見を交換できる関係が構築されることにより、現場レベルでの医療と介護の連携を促進し、もって地域包括ケアの向上を目的とする。

2. 部会委員

職種	氏名	所属	役割
医師	高橋 公一	みさと中央クリニック	部会長
薬剤師	佐藤 真人	たかの薬局	副部会長
看護師	川上 貴子	アカシア訪問看護ステーション	
理学療法士	榊原 佳彦	三愛会総合病院	
介護支援専門員	篠崎 隆太	デイサロンみさと居宅介護支援事業所	
介護福祉士	猪瀬 茜	すこやか福祉会本部	
介護福祉士	三瓶 裕之	三郷ケアセンター	
主任介護支援専門員	尾崎 伸夫	地域包括支援センターひこなり北	

※委員の変更

(理学療法士)

三愛会総合病院 岡崎 喜紀 → 三愛会総合病院 榊原 佳彦

(介護支援専門員)

福祉のニッカ早稲田介護相談室 井上美和 → デイサロンみさと居宅 篠崎 隆太

3. スケジュール

令和3年6月 第1回部会

7月 第2回部会

9月末 研修会

令和3年1月 第3回部会

4. 実施内容

※三郷市多職種向け研修会

*令和3年度：10月22～28日 WEB研修会 Youtube配信

「三郷市のコロナ禍における「各職種の現状」 各委員

*令和4年度：

COVID-19の感染状況によって状況判断し、第1回の会議において今年度の方針を決定する。

研修等の集まりが出来ない場合においては、DVD、ZOOM、教本作成
で対応することも要検討

また、会場で実施できたとして、会場定員数の半分で開催することを考える。

5. 予算 40万

科目	内容	金額 (円)
謝金	講師謝金 (120,000 円×1 回×1 人)	120,000
外注費	Zoom オペレータ 2 名	240,000
賃借代	会場代 終日	20,000
消耗品	印刷・用紙代等	20,000

6. 昨年度研修会アンケートから (希望する研修)

- ① 在宅看取りについて
- ② BCP (介護施設・事業所の業務継続計画) について 災害時連携
- ③ 連携・チームアプローチ (ICT感染対策チーム・MCSの活用方法)

7. 三郷市在宅医療介護連携推進協議会で出ている多職種に対する課題

- ① 在宅看取りについて 理解を深める勉強会
- ② 入退院支援・急変時の対応について
地域包括ケア病棟の機能や役割を知る
- ③ 日常の療養 (連携) について
MCSの利用開始手続きの簡略化・MCSの活用方法、使用例
- ④ 介護支援専門員を対象とした各職種の専門性とサービスの特徴を知る
機会を作る。